

月以降の運転スケジュールが出てくること自体問題。4、6号機を点検して、市民に説明して、という積み重ねがあつて然るべき。

・「物は落ちるもの」ということを前提に、再起動前には再度点検、清掃をやるべきだ。

・運転を続けながらいろいろな対策を講じるということに疑問。停めるべきである。

・各号機が正常に動くことが大事。

■異物問題に関連した現場確認を実施しました

▽日時 平成15年12月14日(日)

午後1時10分〜4時40分

▽出席者 委員13名(欠席11名)

▽視察先 1号機原子炉建屋(ベント管・圧力抑制プール・大物搬入口・廃棄物集積所)

▽概要

・電動グラインダが落ちたと推定され



再循環系配管の補修箇所を確認

るベント管及び補修作業の行われた再循環系配管、圧力抑制プールの上部を確認

・廃棄物集積所、大物搬入口で物品管理の状況を確認

▼意見交換

●現場を見ての感想

・実際に現場を見て状況がよくわかって良かった。

●運転再開前の異物の清掃

・物が落ちるのは当たり前。運転開始前にキッチンと清掃すればよい。

●管理問題

・管理面はよくわかったが、最後は人の問題。

・市内企業では大手発注元から監督員が派遣され、品質チェックを始め企業文化を変えるなど厳しい注文。多くの請負が入っている発電所でもっと厳しい管理でも良いのでは。

A 確かに下請けが多く、作業員も5千人もいる。再発防止策として協力企業も含めた専任の改善チームを発足させ、毎日、改善案を検討している。

●放射性廃棄物の発生

・今後の廃棄物の発生とその処分問題が心配。

A 構内に低レベル放射性廃棄物のドラム缶30,000本分の保管庫があり、現在、11,000本保管。これは、青森・六ヶ所村の処分場で埋設処分される。なお、廃棄物発生を減らすよう改良が進められており、ドラム缶に詰める時も焼却や圧縮によりかさ減らしている。